

# 下鴨神社奉納

場所 下鴨神社 舞殿・橋殿  
日時 令和2年5月4日(月)午後1時

主催 下鴨神社  
宮司 新木直人  
共催 日本古武道振興会  
会長 小笠原清忠

# 下鴨神社奉納演武

舞 殿

橋 殿

参加流派 32 参加人数 142 名 (直会参加 107 名)

- |                        |    |                        |
|------------------------|----|------------------------|
| 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原 清忠)     | 1  |                        |
| 貫心流剣術 (富士原 正雄)         | 2  | 鞍馬流剣術 (柴田 章雄)          |
| 宝蔵院流高田派槍術 (一箭 順三)      | 3  | 神夢想林崎流居合術 (鈴木ゆき子)      |
| 佐分利流槍術、信抜流居合剣法 (川瀬 一道) | 4  | 神道夢想流杖術 (濱地 光男)        |
| 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏)    | 5  | 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀)       |
| 関口流抜刀術 (祖父江光紀)         | 6  | 直心影流薙刀術 (園部 正美)        |
| 立身流 (加藤 紘)             | 7  | 尾張貫流槍術 柳生新陰流兵法 (加藤伊三男) |
| 浅山一傳流兵法 (関 展秀)         | 8  | 神道無念流剣術 (小川 武)         |
| 小野派一刀流剣術 (鈴木ゆき子)       | 9  | 無限神刀流居合術 (長尾 全祐)       |
| 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一)        | 10 | 竹内流捕手腰廻 (竹内 藤十郎)       |
| 無雙神傳英信流抜刀兵法 (森本 邦生)    | 11 | 琉球古武術 (井上 貴勝)          |
| 夢想神伝居合重信流詰合 (津村 恵治)    | 12 | 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平)    |
| 天道流薙刀術 (木村 恭子)         | 13 | 戸山流抜刀道 (中村 朋子)         |
| 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞)    | 14 | 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司)        |
| 直元流大長刀術 (鈴木ゆき子)        | 15 | 風傳流槍術 (今西 春禎)          |
| 柳生制剛流抜刀 (柳生 耕一)        | 16 | 心形刀流武芸形 (小林 強)         |
| 無想神傳流抜刀術 (小川 武)        | 17 |                        |

17 流派 72 名

15 流派 67 名

令和 2 年 (2020) 5 月 4 日

下鴨神社 奉納演武順序

舞 殿

一、小笠原流弓馬術礼法（小笠原長清）

小笠原 清忠  
（神奈川県）  
小笠原 清  
佐保川 大  
和田 誠  
安達 地

二、貫心流劍術（宍戸司箭家俊）

富士原 正雄  
（兵庫県）  
福浦 清文  
谷口 信彦  
松本 昌步  
鈴木 昌也  
中田 貴  
矢島 亜優

三、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覺禪房法印胤栄）

一 箭 順 三  
（奈良県）  
若林 幹  
土屋 明  
半田 裕

四、佐分利流槍術 信拔流居合剣法(佐分利猪之助重隆)

五、細川家伝統兵法二天一流(新免武蔵玄信)

六、関口流抜刀術(関口八郎左衛門源實親)

田米森坂中  
口原本島  
昌紀一  
昭吉彦シ賢

川瀬一  
道(広島県)  
前谷川  
原本瀬  
一哲一  
教助道

宮田和宏(福岡県)  
宮田和宏  
吉村平  
深谷俊文  
長富昭長  
メルハヤシ

祖父江光紀(茨城県)  
徳井哲夫  
坂下忠國

七、立身流（立身三京）

加藤 紘（千葉県）

江加加 尻藤藤 裕 介敦紘

八、淺山一傳流兵法（淺山一傳齋重晨）

関 展 秀（茨城県）

塚関 田 佳展 壹秀

九、小野派一刀流劍術（伊藤一刀齋景久）

鈴木 木 ゆき子（東京都）

鈴木鈴木鈴木 木木木 百合香 真理香 正典建 後酒正 大章 宮茂酒 内木井藤 一地章

十、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳 生 耕 一（愛知県）

柳水野川 柳生越村崎 義明 耕 一 徳広 之士

十一、無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

十二、夢想神伝居合重信流詰合（林崎甚助重信）

十三、天道流薙刀術（齋藤判官伝鬼房）

岡本龍二

森本邦生（広島県）

津村惠治（埼玉県）

津村惠治  
安生和治  
関生和治  
斎藤展秀

木村恭子（東京都）

浦部育子  
田室美知子  
吉富美津江  
貴島美子  
山橋順子  
近藤圭恵  
清水真由美  
清原真由美  
ジョンジェラルド・ユーク  
ベレック・クローエ

十四、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

十五、直元流大長刀術（天真正笠井藤左衛門尉）

十六、柳生制剛流拔刀（水早長左衛門信正）

十七、無想神傳流拔刀術（林崎甚助重信）

飯 篠 快 貞  
（千葉県）

京 荒 櫻  
増 野 井  
重 祥 俊  
利 司 也

鈴 木 ゆき子  
（東京都）  
宮 鈴 木 一  
ゆき子

柳 生 耕 一  
（愛知県）

折 紀 永 数  
居 崎 井 納  
一 一 英  
剛 彰 明

小 川 武  
（東京都）

小 萩 山 掛  
川 崎 谷 川  
成 怜  
昭 子 彦

橋 殿

二、鞍馬流劍術 (大野 将監)

三、神夢想林崎流居合術 (北條甚助林崎平重信)

四、神道夢想流杖術 (夢想権之助勝吉)

濱 富 上 鈴 池  
地 田 木 川 木 田  
光 純 裕 真  
男 隆 一 司 美  
(愛知県)

鈴 後 酒 茂 宮  
木 藤 井 木 内  
ゆき 正 大  
子 典 章 地  
(東京都)

柴 柴 柴 松  
田 田 田 井  
章 彩 雄 康  
雄 雄 水 登 一  
(東京都)





九、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

掛川成彦

長尾全祐（千葉県）

平鈴古 岡木澤 祥貴朱 淑之未久

十、竹内流捕手腰廻（竹内中務大輔久盛）

竹内藤十郎（岡山県）

竹内内内 勢秀 将郎 篤至



十四、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

十五、風傳流槍術（中山源兵衛吉成）

十六、心形刀流武芸形（伊庭是水軒秀明）

梶塚靖司（栃木県）

前高梶塚  
田橋塚  
樹慶靖  
里太司

今西春禎（大阪府）

吉本昭禎  
妻夫木  
亮夫

小林強（三重県）

小中振小林  
崎西角林  
真卓卓  
也男哉強

## 古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髓を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によつて得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもつて自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮（式年遷宮年）、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、浅草神社、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年（昭和五十六年）に発行し、創立五十周年（昭和六十年）からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。平成二十七年七月十九日（日）には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催致しました。古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



# 日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>  
メール [kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp](mailto:kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp)